

春がきた

☆幹事報告

【報告事項】

今週の幹事報告はありません

第1588回例会報告

平成31年2月21日 (木) 晴れ

会長告知

会長 北原 厚子

本日のゲストをご紹介します。
 米山奨学生の楊孟雨さんと塩尻北ロータリークラブ上条勝次さんです。そしてもうお二方諏訪ロータリークラブの会長古屋了さんと幹事の加藤明博さんです。皆さま、本日はようこそ諏訪湖ロータリークラブにお越しくださいました。クラブ会員一同、心より歓迎申し上げます。それでは後ほど楊さんには卓話をお願いし、諏訪ロータリークラブのお二人には一言ずつごあいさつをお願いいたします。



平和の尊さを知る

1587回 2月21日

二月の十九日は、二十四節気のひとつ「雨水」でした。雪が雨になり、根雪が解けてせせらぎになるという意味で、春めいた気候に変わり始めるころのこと。ここ我が家の庭でも、草木の先、ほんのり薄緑色に色づいた新芽が見られ、梅の枝の固く結んだ蕾もほころびはじめました。自然はゆっくり春になっていきます。私たちが道ばたの花を愛でたり、土手のふきのとうや土筆を見つけたり、ゆっくり、じっくり、春を迎えられたらいいですね。

さて、ロータリーの創立記念日である2月23日は「世界理解と平和の日」です。先週に引き続き今月は平和の尊さについての思いをお話したいと思えます。

上田市の小高い丘の上に「無言館」という美術館があるのは皆さんご存じだと思います。画家を志して美術学校に入り、これからという時に戦地に送り込まれ、若い命を落とした戦没画学生の遺作が展示されています。

重い木の扉を開けると目に飛び込んでくるのは、家族団欒の光景であったり、子を宿した妻の裸婦像であったり、深いシワの刻まれた老婆の笑顔だったりします。どの作品からも描き手の思いがあふれるように伝わってきます。

「帰ったらこの絵の続きを描くから」という家族との約束は果たされることはなかったし、おなかの中にいた子の顔さえ見ることができなかった。

絵の前に立つと、今ここに自分が生かされていることの重み、生きている者としての責任を感じずにはいられませんでした。

空気と同じように、平穏な日常も他から与えられたあたりまえのこととそれに甘んじている自分がある。地球のさまざまなところで戦火から逃げ惑い、明日の命さえ知れない思いをしている人たちがたくさんいることを単なる「知識」にしてしまっただけではいけない。

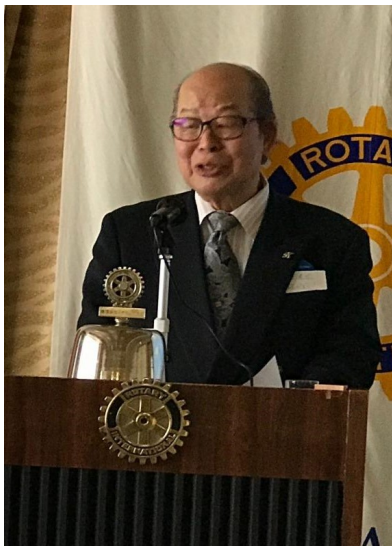
大事な人と一緒にいられる幸せ、おいしいものを味わえる幸せ、好きなことに打ち込める幸せ、そんな当たり前の幸せが当たり前でないことを忘れずに、まだそのような「当たり前の日常」を手でできない人たちのために手を差しのべていく。そんな一人一人のささやかな努力が平和への最も確実で最も力強い礎になると私は信じています。



諏訪ロータリークラブ
 古谷会長・加藤幹事
 にゲストとしておいで
 頂きました。

出席報告	ニコニコBOX	今週のことば
会員数 38人	7名	11,000
出席対象 38人	累計	445,000
出席者数 23人	目標額	60万円
出席率 60.5%	達成率	74.1%
前回修正 84.2%		

国際奉仕委員会 担当例会 ～ 米山奨学生卓話 ～ 講師 米山奨学生 揚 孟雨さん



塩尻北RC
上条カウンセラー

今日は、米山奨学生のヤン モンイウさんとともにお邪魔いたしました。塩尻北RCで米山奨学生をお世話するのは、ヤンさんで3人目ですが、奨学会の松本歯科大学の受け入れは初めてだそうです。地元の塩尻北クラブが受け入れになりました。前の二人は信大からでした。

ヤン モンイウ、呼びにくいのもですから初対面のオリエンテーションの後、どう呼んだらいいかと聞きましたら、ニックネームがありまして、みんなモニカと呼んでくれると言うことで、クラブも親しみをこめてモニカと呼んでいます。

モニカさんは中国河北省の出身です。本国では歯科医師の免許をすでに取得しています。高校時代には、南アフリカに留学した経験がありまして英語が堪能は勿論、国際経験も豊富な才女です。

さらなる勉学に励もうと来日して、松本歯科大学の学生ではなく総合歯科医学研究所の研究生として、歯博課程、口腔疾患制御再建学を専攻しております。

大学では早くも4年の研究期間が終わって去る7日、丁度クラブの例会日に卒業式を迎えました。卒業証書と同時に晴れて博士の称号が授与されました。

卒業のあと、帰国するのかと思いましたが、さらにアメリカに留学して研究を続けるとの事です。

